

2023年度 文学部日本文学科 グローバル体験公募推薦入学試験

日本語による小論文 問題

〔問〕 つぎのA、Eの中からテーマを二つ選んで答えなさい。なお、できるだけ具体例を挙げ、理由も説明すること。

A グローバル化が進む現在の世界で、古典文学や古典芸能、漢文学を学ぶことにどんな意義があると思うか、あなたの考えを述べなさい。

I 文学作品を読む授業をすることで、あなたが近・現代文学史上でかならず取り上げたい作品はなにか、その理由も含めて説明しなさい。

U 日本語について変遷を調べたり、他言語と比較したりして分析することにどんな意味があると思うか、あなたの考えを述べなさい。

E 海外で日本の漫画やアニメーションを日本文化として紹介するとしたら、どんな説明をすればよいか、あなたの考えを述べなさい。

2023年度 法政大学 グローバル体験公募推薦入学試験
経営学部 経営戦略学科

試験科目 小論文（問題）

受験番号					
フリガナ					
氏名					

- (1) 2022年2月に勃発した、ロシアによるウクライナ侵攻が、国内外の企業に与えた様々な影響について、①為替相場、②グローバル・サプライ・チェーン、③企業収益、の3つの視点から論じなさい。
- (2) 前問をふまえ、経済・経営のグローバル化に伴うデメリットについて、何点か指摘しなさい。また、そのデメリットを今後我々はどのように克服すればよいと考えるか、あなた自身の持つグローバル体験も参照しながら論じなさい。

2023年度キャリアデザイン学部

キャリア体験自己推薦入学試験・グローバル体験公募推薦入学試験

小論文 問題

次の文章は、教育学者の神代健彦の著書『「生存競争」教育への反攻』の一部である（表現は、一部変えてある）。よく読んで、以下の二つの問いに答えなさい。

「あれ」がなければ生きていけない、だから苦しくても、もっともつと欲しい、もっと効き目のある、もっとわたしを安心させてくれる、「あれ」を……。まるでチープなテレビドラマに出てくる、極端にデフォルメされた薬物依存症患者のうわごとのようなのだが、一部の教育家族たち（とはいえそれは、多かれ少なかれわたしたちのことだ）の教育に対する態度はこれと似たようなものなどと言え、叱られるだろうか。

それはそうかもしれない。人々が教育をもとめるのは、自分たちの快樂のためというよりは、自分の子どもへの愛情ゆえであるのだから、教育をもとめることをある種の「依存」のように言うのはずいぶんとシニカルにすぎる。しかしそれでもあえて教育を「依存」のメタファで語る仕方は、わたしたちと教育の関係についての興味深い一面を照らし出す「異化」の効果をもっている。あえて言ってみよう。わたしたちは「教育依存症」である。わたしたちは、子どもによい教育を与えたい、否、与えなくては不安で仕方がない。いま与えている教育で十分なのか、もっといい教育があるのではないか、そんな底なしの不安。

もう少し正確に言い添えると、この教育依存というアイデアは、わたしたちが経験する現実の教育、特にその主要なものとしての学校教育に、わたしたちがまったく心酔してしまっているとか、その経験が至上の快樂であるとか、そういうことではない。正確に言えばわたしたちは、自分たちの世俗的な幸福を約束してくれる、じつのところいまだ存在しない理想的な教育を欲望している。そして允進し続ける理想への欲望が、いきおい、現実の学校教育をひどく色あせたものにみせる。「学校は、つねにろくでもない、役に立たない教育を提供している」「すべての人に門戸を開く公立学校は、特にひどい」「極めつけの大きい「改革」が必要だ」——そのような否定的な感情は、わたしたちの社会のそこかしこで見聞きする、ごくごく一般的な教育語りだ。わたしたちは、教育依存症患者であると同時に、そしてそれゆえに、ひどい学校不信のなかにいる。

とはいえ教育依存／学校不信の症状が深刻なのは、個々の教育家族たちだけではない。結局はわたしたちの社会そのものが、もっとも深刻な教育依存／学校不信症候群の罹患者である。社会にはつねに問題が山積している。格差や貧困はもちろん、さまざまな差別はまだ根強

い。他方で、近い将来あらたな産業革命を迎えると言われるグローバル世界のなかで、日本社会は新しい生き残りの方法を必要としている。だからこの社会で暮らす人々、つまり政治家、財界人、官僚といったリーダーたちから、近所のおじさんやおばさん、職場の上司や同僚など身近な市井の人々に至るまで、そしてもちろん教育家族たちもみんな、教育を欲望している。みんな互いに微妙にすれ違って、ひどく矛盾しながら、にもかかわらず一丸となって、わが子の成功や社会それ自体の治療やエンパワーメントのために、理想の教育を欲望している。そしてその欲望が成就しないことに、つねに絶望し呪詛している。だから日本の学校教育は、明治の創設以来一四〇年以上、休むことなくずっと改革され続けている。

第一問

傍線部「わたしたちの社会そのものが、もっとも深刻な教育依存／学校不信症候群の罹患者である」とは、どういうことか。二〇〇字以内で説明しなさい（縦書き、句読点も字数を含む）。

第二問

私たちは、教育や学校とどう付き合っていけばよいのか。この文章の著者の意見も参考にしつつ、あなた自身の意見を四〇〇字以内で述べなさい（縦書き、句読点も字数を含む）。

